

## オイルステイン+クリヤラッカー塗り (OS+CL)

## 1. 適用範囲

工事名：  
 工事場所：  
 施工業者：  
 塗装業者：  
 特約店名：

## 2. 材料

VATON<sup>FX</sup> 各色 F☆☆☆☆ O01007 VATON<sup>FX</sup> シーラー F☆☆☆☆ O01071  
 SW ラッカー型サンディング金剛 JIS K 5533 認証 SW ラッカー型クリヤー金剛 JIS K 5531 認証  
 SW ラッカー型フラット金剛 F☆☆☆☆ O01319

## 3. 施工部位

内装木部

## 4. 工程

工程	種別		塗料その他		塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )	乾燥時間 (23℃)	
	A種	B種	規格番号	製品名			
素地ごしらえ	○(注)1		新設時：18.2.2による、改修時：7.2.2による		—	—	
1	1回目塗り	VATON <sup>FX</sup> 各色			0.03	16時間以上	
2	ふき取り	全面白木綿布片でふき取る。			—		
3	2回目塗り	VATON <sup>FX</sup> 各色			0.03	2時間以上	
4	ふき取り	全面白木綿布片でふき取る。			—		
5	下塗り	○	○	JIS K 5533	VATON <sup>FX</sup> シーラー	0.10 (0.05)	1時間以上
6	中塗り	○	○	JIS K 5533	SW ラッカー型サンディング金剛	0.10	1時間以上
7	研磨紙ざり	○	○	研磨紙 P220~240		—	—
8	上塗り (1回目)	○	○	JIS K 5531	SW ラッカー型クリヤー金剛	0.10	2時間以上
9	研磨紙ざり	○	—	研磨紙 P240~320		—	—
10	上塗り (2回目)	○	—	JIS K 5531	SW ラッカー型クリヤー金剛	0.10	—

(注) 1. 18.2.2 木部の素地ごしらえ、7.2.2 木部の下地調整の種別は、塗料その他の欄による。  
 2. 改修時、新規に塗装を行う場合は、7.2.2 木部の下地調整に代えて、7.3.2 木部の素地ごしらえを行う。  
 \* SW はセーフティーワルツ(トルエン・キシレンフリー)の略称です。

## 5. 注記

- 本仕様は公共建築工事標準仕様書(平成 31 年度版)のオイルステイン塗り (OS) 及び公共建築工事標準仕様書 (令和 4 年度版) クリヤラッカー塗り (CL) に基づいた仕様です。
- 改修時、既存塗膜がある場合、表 7.2.1 木部の下地調整の RA 種 (既存塗膜の全面除去) 等を適用して下さい。
- 上記塗布量は公共建築工事標準仕様書(平成 31 年度版)のオイルステイン塗り (OS) 及び公共建築工事標準仕様書(令和 4 年度版)のクリヤラッカー塗り (CL) の塗付け量になります。また、工程 5 ( ) の数値はカタログ記載の弊社推奨値です。  
(シンナーによる希釈は考慮していません)
- VATON<sup>FX</sup>、VATON<sup>FX</sup>シーラーは原液で使用して下さい。SW ラッカー型サンディング金剛、SW ラッカー型クリヤー金剛、SW ラッカー型フラット金剛の希釈には、SW #500 ラッカーシンナーを使用して下さい。
- 乾燥・塗り重ね時間は、温度・湿度等の条件により異なります。5℃以下や多湿時の塗装は避けて下さい。
- ふき取り工程で使用したウエス等は自然発火の恐れがありますので、破棄するまで水に浸す等適切に処理して下さい。
- 工程 5 と 6 の間隔が長くなる(24 時間以上)場合は研磨工程を入れて下さい。
- 艶消しの場合は、上塗り・仕上げ塗りを SW ラッカー型フラット金剛 各艶消を使用して下さい。(艶消は JIS 規格対象外です)
- 製品詳細は、製品カタログや SDS 等を参照して下さい。